

区別計画策定に向けた検討シート（南区）

2 現状と課題

産業	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業別就業者数は、第2次産業の割合が4区の中では2番目に高い。 ・ 南部に広がる広大な干拓地では米麦を中心に、藤田地域のレタス、灘崎地域の千両なすなど市場価値が高く、高値で取引されている品目もある。 ・ 農業者の状況については、自ら創意工夫し、経営を進めようとする認定農業者数は307経営体で市全体に占める割合は46.2%、新規就農者は、平成25年から27年までの間に市全体の74人のうち、南区が23人を占めた。 ・ 近年、児島半島地域や灘崎地域においては、イノシシ等による農作物被害が発生している。
	<p>【課題】</p> <p>①農業の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南区の認定農業者数や新規就農者数は4区の中では最も割合が高いが、南区においても他区と同様、農業後継者が不足し、農家戸数が年々減少し担い手の確保と遊休農地の増加が課題となっている。 <p>②広域的な鳥獣被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イノシシ等による農産物への被害を防止するため、近隣市町との連携による対策が求められている。
交通	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意識調査において、南区は外出する際に自家用車を利用する割合が高く、また公共交通機関に対する満足度は低い。 ・ 公共交通が身近にないなど、日常生活における移動が不便な地域が存在する。
	<p>【課題】</p> <p>①交通利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通量に対して車線数が不足している路線が見受けられる。 <p>②生活交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民との協議が進んでいる迫川地区をはじめ、公共交通不便地域において、買物や通院などの日常生活に必要な交通手段を確保していく必要がある。
保健福祉、 子育て	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校区単位や保健センター単位で健康市民おかやま21の推進体制があり、地元企業との連携や高血圧対策を重点的に取り組むなど特色のある活動を行っている。 ・ 子どもの割合は中区と並び最も高い。
	<p>【課題】</p> <p>①健康づくりの体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性に応じた健康づくりをさらに進めるため、中学校区や小学校区単位での組織づくりを行う必要がある。 <p>②子育て環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援など子育て環境の整備を進める必要がある。

区別計画策定に向けた検討シート（南区）

<p style="text-align: center;">防災・防犯 (安全・安心)</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・干拓地という特性から低地が多く、宅地化が進んだことから田の保水調整機能も弱まり、近年の台風の大型化や局地的集中豪雨により、岡南地域、灘崎地域では内水はん濫による浸水被害が発生しており、児島半島地域では高潮被害が懸念されている。 ・灘崎地域、児島半島地域の山間部では、土砂災害の発生が懸念されている。 ・想定される南海トラフ巨大地震においても、津波等により大きな被害を受ける可能性が高いと予想されている。 ・干拓地に広大な農地が広がり、用水路が多くある。
	<p>【課題】</p> <p>①津波、浸水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査においては、防災対策の強化が高いポイントを得ており、高潮等による浸水被害が懸念される地域については、護岸、高潮堤防の整備が望まれる。 ・市街地等での浸水対策を進める必要がある。 <p>②自主防災組織率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内地域によって自主防災組織率に大きな差があるため、組織率の低い地域への対応が必要となっている。 <p>③用水路の安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路への転落事故が発生しており、転落危険箇所を把握し、必要な安全対策を進めていく必要がある。
<p style="text-align: center;">コミュニティ</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した市民サービス拠点を有し、市民意識調査においても市民サービス拠点に対する住民の満足度は高い。 ・南区の町内会加入率は83.5%であり、東区に次いで高い。 ・地域住民による清掃活動や不法投棄監視など、地域ぐるみで環境保全活動が行われている。
	<p>【課題】</p> <p>①町内会活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会などの地域コミュニティは、災害が起こった際の重要な役割を持つ「共助」を担う単位でもあることから、その活動の活性化を支援していく必要がある。
<p style="text-align: center;">特色ある 地域づくり</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災リーダー育成、耕作放棄地の復元を兼ねてのイノシシ対策など、地域課題を解決するための取組がなされている。 ・県の天然記念物である大山桜や、用水路を活用した川舟体験など、地域の資源を活かしたイベントにより、世代間の交流を深め、地域の魅力を発信する取組がある。 ・音楽によるまちづくりや、地域の物語の創作など、地域の新たな魅力づくりや人のつながりを深める取組が行われている。
	<p>【課題】</p> <p>①地域間の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が相互にどのような活動をしているかを把握できていないため、地域での活動内容にばらつきがある可能性がある。情報を共有し、地域づくりの活動をさらに活性化させる必要がある。